

おこぎんの
じゅりえつ

みなみの しえ
**南野詩恵/お寿司『結婚式』ご出席・ご欠席・ワークインプログレスの
試演会を行いました！**

現代日本の「結婚式」の形式に無理やり『ロミオとジュリエット』の物語を当てはめる実験。
何度も稽古と試演会に参加して下さった出演者のみなさんの感想を紹介します。



新郎新婦へ歌のプレゼント♪

撮影 manami tanaka



ジュリエットは二次元の美少年ロミオに
恋をする設定。

原作では、ジュリエットは13歳。花嫁が様々な
困難と戦うための装備として、アメフト防
具のドレス(南野さん作)を着用しています。

イラスト:豊岡高校2年生 むらかみさん

集まったみんなから「こうすれば面白いので
は？」と意見が出て、それらを否定すること
なく作品として組み上がっていく心地よさを感じ
ました。/新郎パリス役・Fさん

参加者の皆で「面白い」を探して作っていく稽
古場で、毎日が新鮮でエネルギッシュでした。
/ジュリエット役・Mさん

ちょっと見に行ってみようという気楽な気持ちで
参加。ラップを歌う、壊れたケーキを直す、
などメモによる指示で参加するうち楽しく
なり以前結婚式の司会をしていたことを話すと、
司会役をすることに!この仕事が好き
だったのを思い出しました。/司会役・Iさん

みんなの
イラストコーナー



8月のイベント

※詳細は裏面をご覧ください

1 **8/12(土)・13(日) 14:00~17:00** 両日とも
◎託児なし

会場/城崎国際アートセンター 単発参加OK 参加無料
対象/小学4年生~中学3年生

にほんすもうぶんげいじゅつさきよくかきょうぎかい ジャクシャ
**日本相撲聞芸術作曲家協議会(JACSHA)と
いっしょに音楽をつくろう!**
「とよおかこども音楽クラブ」

2 **8/19(土) 17:00~21:00** 参加無料
◎託児あり

会場/城崎国際アートセンターおよび城崎温泉街
定員/最大15名(先着順)

うおもり りえ ケハイワークス
魚森理恵/kehaiworks
くらやみさいこう
「暗闇再考プロジェクト」トーク&ワークショップ



託児を希望される方は、電話でKIACまでお申し込みください。
保育士さんの手配の都合上、各イベント開催日の1週間前が締切です。

観る
聴く
参加する

城崎国際アートセンター(KIAC/きあつく)は、演劇やダンスなどの
アーティストが滞在しながら作品をつくる場所です。
滞在アーティストは、市民のみなさんが無料で観たり参加したりできる
「地域交流プログラム」をおこないます。

掲載イベントに関する
申込・問合せ

城崎国際アートセンター [電話受付 9~17時/火休]
TEL.0796-32-3888 FAX.0796-32-3898
①イベント名 ②日程 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号をお伝えください

掲載情報は、2023年7月15日時点の情報です。
今後の状況によっては予定を変更する場合があります。
最新情報は <http://kiac.jp> で確認してください。



イベントにおける
感染症対策について



8月の滞在アーティストかみくだけ

1

KIACコミュニティプログラム2023 ~8月の活動予定~

KIACでは、複数年をかけて、じっくりと地域と関わるアーティストと協働する【コミュニティプログラム】を実施しています。参加アーティストは、昨年に引き続き、美術作家の太田奈緒美さん、映画作家の波田野州平さん、作曲家3人のグループ・日本相撲聞芸術作曲家協議会。



©Toru Kitahara

左からジャクシャ野村さん、縦山さん、鶴見さん

にほんすもうぶんげいじゆつ
**日本相撲聞芸術
作曲家協議会**
さつきよくかきようぎかい

略して
JACSHA/ジャクシャ

「とよおかこども音楽クラブ」

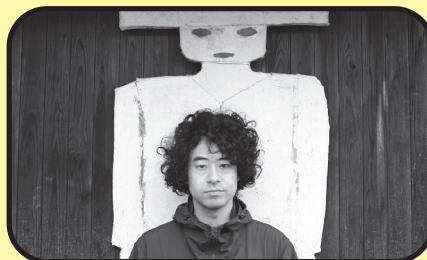
ワークショップを8/12-13で実施。
夏のお祭りや盆踊りを「音」の面からこどもたちとリサーチし、作曲をします。できた曲は10月にコンサートで発表予定です。

はたの しゅうへい

波田野 州平

「海やまのあいだ」

竹野地域で行われるお盆の時期の行事についてお話を伺い、動画撮影を行います。11月に成果発表を予定しています。お楽しみに。



2

うおもり りえ ケハイワークス
魚森理恵 / kehaiworks

くらやみさいこう
「暗闇再考プロジェクト」トーク&ワークショップ

日程/8月19日(土) 17:00~21:00 定員/最大15名
持ち物/暗闇の中で食べるごはん(おにぎり、飲み物など)、動きやすい服装

滞在期間 8月17日~8月20日

どんな人？



©Itsumi Okayasu

うおもり りえ

魚森理恵

照明デザイナー

兵庫県出身。照明デザイナーとして舞台作品や美術展示などの照明を手掛けるほか、光と知覚のワークショップやパフォーマンスを制作しています。当館芸術監督・市原佐都子作品『弱法師』(豊岡演劇祭2023)の照明デザインを担当。光や暗闇を求めて様々な街へ出かけ、照明文化を研究する「照明探偵団」メンバー。酒場探訪が好き。

何をやるの？

私たちの生活の中には様々な「暗闇」があります。
今回は、芸術表現と暮らしにおける「暗闇」の意義をともに考え・体験してみようという試みです。ゲストを交えた暗闇の中でのトークや、劇場の照明を使った光の実験のほか、暗闇の中で食事をしながら交流します。最後は夜の温泉街に様々な光を探しに出かけましょう。

劇場照明と暗闇の実験
温泉街の照明文化
暗闇を観光することは可能か？
夜間景観フィールドワーク

これからの
予定

- 8月6日(日) —— ○小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク『言葉とシェイクスピアの鳥』滞在成果発表
- 9月22~24日 —— ○豊岡演劇祭 連携プログラム KIACレジデンス・セレクション2022→23[SPA of Narratives/声と語りの浴場]
- 10月中旬 —— ○屋根裏ハイツ8F演劇公演『テーブルマナー(仮)』地域交流プログラム
- 11月 —— ○コミュニティプログラム2023 波田野州平「海やまのあいだ」地域交流プログラム